

## Joylife Yusuhara (第12部)

### さようなら、栲原 (Sayonara and good bye Yusuhara!)

7月がやってきました。僕にとっては、栲原で過ごす、最後の数週間となります。日本の文化とそこに住む人たちに、とても大きな関心を持ったひとりとして、僕はこの地にやってきました。どんな国や町もそうであるように、日本にもまた、独自の魅力的な文化と暮らしがあります。僕がやってきたのは2年前のことですが、思えば、それからいろいろなことが変わりました。変わらなかったもの……それは栲原の自然でしょうか。毎朝、家の周辺を歩き、山や川を眺めるたびに、僕を驚かせ続けてくれています。これから何百年経っても、この美しい環境がずっと変わることがありませんように！

栲原での生活を通して、僕はたくさんの方のことを学びました。他方、子どもたちに対しては、英語を学び、楽しむことの手助けとなれたことを願うばかりです。これからの栲原を担う若い世代が、英語を学び続けていくことを強く願っています。そのことは、彼ら自身のためだけでなく、日本という国の幸せな未来のためにも、きっと役に立つでしょうから。

僕たちの世界がこれからどうなっていくのか。今この瞬間には、確かなことはわかりません。そして、それは日本の未来にも言えることです。

それでも、世界中の人々にとって、お互いに関わりあうこと、一緒に活動することは、これまで以上に意味があることになるのではないかと僕は考えています。来たるべき社会的な問題や、経済的な問題や、環境問題に世界が直面せざるを得ないことを考えれば、国という枠を超えて助けあうことは、もっと大切になっていくことでしょう。だからこそ、世界中で幅広く受け入れられている言語、英語を学ぶことは、もっと価値を持つようになるのではないのでしょうか。

最後になりましたが、栲原は、本当に特別な場所でした。この町で過ごした2年間を、僕は決して忘れません。栲原のみなさん、ありがとうございました。みなさんのご多幸をお祈りしています。さようなら！



世界中探してもここにしか存在しない場所と、ここでしか見られない眺めです！

(日本語訳：町 ALT 森竹弘喜)